

WIRED

報道関係各位
プレスリリース

2014年9月29日
コンデナスト・ジャパン

2014年10月10日（金）開催

WIRED CONFERENCE 2014 FUTURE CITY

未来の都市を考える TOKYO を再インストールせよ
建築家/OMA パートナー・重松象平氏 緊急参戦！

世界をリードするアイデア&イノベーションマガジン『WIRED(ワイアード)』は、2014年10月10日に「WIRED CONFERENCE 2014」を開催いたします。ビャルケ・インゲルス、ケヴィン・ケリー、齋藤精一氏ら豪華スピーカーに加え、本日、重松象平氏の参加が決定いたしました。

- ✓ 建築設計集団 OMA パートナーとして、世界の建築界をリードする、重松象平氏の「WIRED CONFERENCE」への緊急参戦が決定！
- ✓ 海外建築の最前線を走る重松氏が、2020年、さらにその先の東京の未来について提言！
- ✓ かつての同僚にして、よきライバルでもある OMA 出身ビャルケ・インゲルス(BIG)との、トークセッションが、東京で実現！

重松象平 Shohei Shigematsu

建築家。建築設計集団 OMA のパートナーおよびニューヨーク事務所代表。主な作品は CCTV(中国中央電視台)新社屋、プラダ巡回展「ウェスト・ダウン」、コーネル大学建築芸術学部新校舎、コーチ表参道フラッグシップストア、カニエ・ウエスト・セブンスクリーンシネマなど。現在、コロンビア・ボゴタの新都心マスタープラン、ニュージャージー州・ホーボーケンにおけるハリケーン・サンディ後の復興計画など、都市的規模のプロジェクトから、ケベック国立美術館新館、ファエナ・アーツ・センター(マイアミ)、マリナ・アブラモヴィッチ・インスティテュート(ニューヨーク)、蔡國強のアトリエ(ニューヨーク)、ベネチア・ビエンナーレ・ドミニカ共和国パヴィリオンなどのアートにかかわる建築、そしてサンタモ

ニカの商業複合施設、サンフランシスコやマイアミ、マンハッタンでの高層集合住宅など、ディベロッパーとの仕事まで、世界各地で多岐にわたるプロジェクトが進行中である。2013年よりハーバード大学デザイン学部大学院 GSD において、「Food」と都市・建築との関係を考察する Alimentary Design スタジオを率いている。



WIRED

■開催概要

2020 年に向けて、その先の未来へ向けて、東京は大きな変化を遂げようとしています。グローバル化がいつそう進行し、ますます多様化し複雑化する都市はいま、まったく新しい課題に直面しているのです。

エネルギー、交通、経済、建築、福祉、医療、コミュニケーション、そして、わたしたちの暮らし方、働き方。

新しい時代の都市には、いったい何が求められ、それはどういう場所へと変貌しなければならないのか？

そしてテクノロジーはそこでどんな役割を果たすことができるのか。よりよい未来へ向けて、わたしたちは、どのような未来図を描き、そこにいかなるプログラムをインストールすべきなのか。

ビャルケ・インゲルス、ケヴィン・ケリー、齋藤精一ら豪華スピーカーとともに、未来の都市を考えます。

日時： 2014 年 10 月 10 日（金）10:00-19:00

会場： 虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B 東京都港区虎ノ門 1 丁目 23 番 3 号 虎ノ門ヒルズ森タワー 4F

受講料： 18,000 円（税別）

定員： 265 名

主催： コンデナスト・ジャパン

協賛： アウディ ジャパン株式会社、オートデスク株式会社、株式会社電通国際情報サービス オープンイノベーション研究所、森ビル株式会社、株式会社ワコム

言語： 日英同時通訳が入ります

■登壇者

- ・ ケヴィン・ケリー： US 版『WIRED』創刊編集長
- ・ ビャルケ・インゲルス： Bjarke Ingels Group (BIG) 共同設立者
- ・ 齋藤精一： ライゾマティクス代表取締役
- ・ イェンス・マーティン・スキブステッド： Biomega 創業者／デザイナー
- ・ エリック・ハウエラー： 建築家 (Höweler + Yoon Architecture)
- ・ 豊田啓介： 建築家／Noiz
- ・ 重松象平： 建築家／建築設計集団 OMA パートナーおよびニューヨーク事務所代表
- ・ ディエゴ・タンブリーニ： オートデスクインク 製造業向け戦略立案担当 エバンジェリスト
- ・ 渡邊信彦： 株式会社電通国際情報サービス オープンイノベーション研究所 所長
- ・ 岸田茂晴： 株式会社ワコム タブレット営業本部マーケティング部ジェネラルマネージャー
- ・ 若林恵： 『WIRED』日本版 編集長



ケヴィン・ケリー Kevin Kelly US 版『WIRED』創刊編集長

著述家・編集者。1984 年から 90 年まで『Whole Earth Review』の発行・編集を行う。93 年には雑誌『WIRED』を共同で設立。以後、99 年まで編集長を務める。現在は、毎月 50 万人のユニークビジターを持つウェブサイト Cool Tools を運営している。ハッカーズ・カンファレンスの共同創設者であり、先駆的なオンラインサービス WELL の設立にも携わる。2014 年 6 月に『テクニウム—テクノロジーはどこへ向かうのか？』〈みすず書房〉を刊行。<http://kk.org/>

WIRED



ビャルケ・インゲルス Bjarke Ingels Bjarke Ingels Group (BIG) 共同設立者

1974年、デンマーク・コペンハーゲン生まれ。

バルセロナ建築大学で学び、OMA(ロッテルダム)に勤務。建築事務所 PLOT を共同設立後、2005年にBIG(ビャルケ・インゲルス・グループ)を設立。コペンハーゲンに本社を持ち、ニューヨーク、中国にオフィスを展開している。<http://www.big.dk/>

※登壇者は予定であり、変更となる可能性もございます。あらかじめご了承ください。

※講演後は、参加者のみなさまと、登壇者の方々との懇親会を予定しております。

■タイムテーブル

10:00 「都市こそ未来」若林恵『WIRED』日本版編集長

【第一部】 TECHNOLOGY 都市は進化している

10:10 「都市はテクノロジーである」ケヴィン・ケリー

10:40 「都市はどこへ向けて進化しようとしているのか？」ケヴィン・ケリー × 齋藤精一

11:20 「3D シティ ものづくりが都市をドライブさせる」ディエゴ・タンブリーニ

11:40 休憩

【第二部】 ARCHITECTURE 新しい建築、新しい都市

13:00 「快樂的サステイナブル都市をめざして」ビャルケ・インゲルス

13:50 「コンピューターショナル・アーキテクチャーと新しい都市のプログラム」豊田啓介

14:30 「アーバン・モビリティ、アーバン・デザイン」エリック・ハウエラー & Audi Urban Future Initiative

15:20 休憩

【第三部】 LIFEDESIGN 来るべき都市生活のデザイン

15:40 「北欧発！ バイシクル・シティのつくりかた」イエンス・マーティン・スキブステッド

16:20 「これはペンではない新しいウェアラブルが暮らしを変える」岸田茂晴

16:40 「カラダでつながる都市、東京」渡邊信彦

17:00 「未来の TOKYO へのヴィジョン」

重松象平×ビャルケ・インゲルス 【モデレーション：豊田啓介】

17:40 ご挨拶 若林恵

18:00 懇親会

19:00 終了

※プログラムは予定であり、変更となる可能性もございます。あらかじめご了承ください。

WIRED

■イベントスケジュール等詳細

以下ウェブサイトよりご確認ください。 <http://wired.jp/conference2014/>

■WIRED (ワイアード)

1993年に米国で創刊し、現在5カ国で展開する、世界で最も影響力のあるテクノロジーメディア『WIRED』の日本版として、2011年6月にウェブサイトと雑誌を同時スタート。テクノロジーの進化を通して、カルチャーから、サイエンス、ビジネス、医療、エンターテインメントまで、社会のあらゆる事象を、読み応えのあるテキスト、美しいデザインとビジュアルでレポート。テクノロジーが時代をどう変え、時代がテクノロジーに何を望むかを考えることで、来るべき世界の未来像を探る総合メディア。

年4回発行 (3、6、9、11月) / 定価：500円 / 発行：コンデナスト・ジャパン

■本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

WIRED マーケティング部 担当：服部 TEL：03-5485-9152 FAX：03-5766-3010

インターネットへの掲載の場合、次のURLを掲載のうえ、リンクしてください。 <http://wired.jp>